

富津市立保育所自己評価書

(竹岡保育所)

- A → 大変よい
- B → よい
- C → 一部検討を要す
- D → 改善を要す

評価期間 令和7年4月～令和8年2月

令和8年3月

項目	内 容	評価 A. B. C. D	評価の根拠・改善策等
生命の保持・健康	家庭との連携を密にし、嘱託医との連携を図りながら、子どもの疾病や事故防止に関する認識を深め、保健的で安全な保育環境の維持及び向上に努めている。	B	日々の健康観察や家庭との連携により、子どもの体調変化の早期発見と対応に努めている。また、毎朝のミーティング等で職員間の情報共有を行い、感染症予防や安全点検を実施するなど、健康で安全な環境の維持に取り組んでいる。一人ひとりの発達や個人差に配慮した関わりを行い、
	愛情豊かな受容の下で、安定感を持って生活し、食事や午睡、遊びと休息など、快適な生活のリズムが形成されている。	A	安心して生活できる姿につながっている。今後も家庭との連携やヒヤリハットの共有を継続し、安全管理と健康保持の充実を図っていく。
	様々な活動に親しみ、楽しんで取り組んでいる。	A	
人間関係	子どもたちが保育士等に思いや行動を受け止めてもらい、応答的な関わりの中で、安定感をもって過ごさせている。	A	異年齢での関わりや行事等を通して、思いやりや憧れの気持ちが育ち、自然な交流が広がっている。保育士が共通理解のもと応答的に関わることで、子どもが安心して思いを表現し、相手の気持ちに気づこうとする姿が見られる。
	生活や遊びの中で、身近な人への関心をもち、真似をしたり、ごっこ遊びを楽しめるようにしている。	A	思いの行き違いには仲立ちや代弁を行い、決まりの大切さも丁寧に伝えている。今後は、子ども同士で考え解決しよう
	自分の思ったことを相手に伝え、相手の思っていることに気付くよう促している。	A	
	生活や遊びの中で決まりの大切さに気付き、守ろうとする意識が育つよう援助している。	A	

			とする力がさらに育つよう、見守りと援助の在り方を工夫していく。
環境	安全で活動しやすい環境の下で探索活動を通して五感の働きを豊かにする機会を作っている。	A	海や山に囲まれた自然環境を生かし、地域の協力のもと磯遊びや散歩、畑活動など五感を使った探索活動を行っている。自然体験を通して形・色・大きさ・数量等への気づきが見られ、年長児の姿をきっかけに文字や数量への関心も広がっている。今後も、個人差を踏まえ、発達や年齢に応じた関わりを工夫しながら学びの充実を図っていく。
	生活や遊びの経験を重ねながら、形、色、大きさ、量、音などの物の性質に気付くよう働きかけている。	B	
	自然に触れて遊ぶ中で、その大きさ、美しさ、不思議さなどに気付く機会を作っている。	A	
	日常生活の中で、数量や図形、標識や文字などに関心をもつよう心がけている。	B	
言葉	保育士等の応答的な関わりや話しかけにより、自分の要求や気持ちを伝えられるよう配慮している。	A	子どもの話を丁寧に受け止め、応答的に関わることで、安心して思いを言葉で伝えようとする姿が見られている。話し合いや日々のやり取りを通して、相手の話を聞く大切さや様々な考えがあることに気づいている。また、絵本や紙芝居、歌、わらべうた、読み聞かせボランティアなど、多様な言葉に触れられる機会を設けることで、言葉への興味や表現力の育ちにつながっている。今後も発達に応じた言葉
	絵本や紙芝居を楽しみ、簡単な言葉を繰り返したり、模倣したりして言葉の感覚が豊かになるよう働きかけている。	A	
	保育士等や友達の言葉や話に興味や関心を持ち、親しみをもって聞いたり、話したりできるように配慮している。	A	
	生活の中で必要な言葉の意味や使い方を知ることができるよう心がけている。	B	

			かけや環境の工夫を行い、伝え合う力のさらなる向上を図っていく。
表現	水、砂、土、紙、粘土など様々な素材に触れ諸感覚を使い楽しむ機会を作っている。	A	水・砂・土・紙・粘土など様々な素材や自然物に触れる機会を設け、五感を使った表現活動を行っている。週1回のリズム遊びやわらべ歌、季節の歌に親しみ、音楽に合わせて体を動かす楽しさや、できた喜びを味わう姿が見られる。
	音楽に合わせて体を動かすことの楽しさを味わう機会を作っている。	A	また、子どもの気づきや思いに共感し、代弁しながら伝え合う関わりを大切にすることで、感動や喜びを共有し、自信や意欲につながっている。今後も多様な素材や体験を取り入れ、一人ひとりの感じたことを豊かに表現できる環境づくりを工夫していく。
	生活の中で様々な音、形、色、手触り、動きなどに気付いたり、感じたりするなどして楽しむよう働きかけている。	A	
	生活の中で、保育士等や友達と感動を共有することや伝え合う楽しさを味わえるよう心がけている。	A	
保護者への支援	一人ひとりの保護者と、日常的な情報交換に加え、個別面談などの機会を作っている	A	送迎時や連絡帳、個別面談、保育参加等を通して日常的に情報交換を行い、保護者が相談しやすい雰囲気づくりに努めている。相談や意見には丁寧かつ迅速に対応し、その内容を記録するとともに職員間で共有し、支援や保育に生かしている。今後も、一人ひとり
	家庭状況や保護者との情報交換の内容が必要に応じて記録されている。	A	
	保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、迅速に対応している。	A	

			の保護者の状況に応じた丁寧な関わりを継続し、支援の充実を図っていく。
行事	行事のねらいを計画や実施に十分生かしている。	A	行事は子どもの主体性や発達に配慮し、ねらいを職員間で共有して計画・実施している。子どもの思いを取り入れながら進め、実施後は振り返りを行い、成果や課題を次回に生かしている。また、ドキュメンテーション等で子どもの姿を伝え、保護者の意見も可能な範囲で反映している。園外保育では事前の安全確認を行い、安全面にも配慮している。今後も、計画・実施・評価・改善の体制をより充実させ、行事内容の向上を図っていく。
	保護者の願いや意見を取り入れている。	B	
	計画・実施・評価・改善の体制をとっている	A	
その他	乳幼児や保護者に関する個人情報を適正に取り扱っている。	A	個人情報には守秘義務を遵守し、書類やカメラ等を定められた場所で保管するなど適切に管理している。安全管理や不適切保育防止等をテーマとした園内研修を定期的に行っている。また、園内研修を定期的に行っている。安全管理や不適切保育防止等をテーマとした園内研修を定期的に行っている。また、園内研修を定期的に行っている。
	園内研修を実施している。	A	
	掲示板、掲示場所等を適切かつ効果的に活用している。	A	また、掲示板やドキュメンテーション、タブレット等を活用している。

		<p>用し、保護者へ必要な情報や 子どもの活動の様子を分かり やすく発信している。今後も 情報管理の徹底と研修内容の 充実を図り、適正な運営に努 めていく。</p>
--	--	--